単位数	4単位	副教材等	基本と演習テーマ 数学Ⅱ（数研出版）
学年・学級	普通科2学年A～H組		
教科書	新編 数学Ⅱ 数研出版		

1 学習の到達目標

方程式・式と証明、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数及び微分法と積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容・学習活動	評価方法
第1学期	4	1章 式と証明	1節 式と計算	3次式の計算、二項定理、整式の除法、分数式の四則について理解を深める。	行動観察 小テスト プリント分析 定期考査
		2章 複素数と方程式	1節 複素数と2次方程式の解	数の範囲を複素数まで拡張し、その計算に習熟する。	
	5		2節 高次方程式	剰余の定理、因数定理について理解し、高次方程式を解けるようにする。	
		中間考査			
	6	3章 図形と方程式	1節 点と直線	点や直線の基本的な性質や座標・式を用いて、解析幾何的に考察し処理するとともに、その有用性を認識する。	
				7	
期末考査					
第2学期	9	4章 三角関数	1節 三角関数	角の一般角までの拡張や弧度法を学ぶとともに、三角関数について理解し、関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用する。	行動観察 小テスト プリント分析 定期考査
			10	2節 加法定理	
	中間考査				
	11	5章 指数関数・対数関数	1節 指数関数	指数を有理数まで拡張し、指数法則や累乗根について理解を深め、それらを活用する。関数としての指数を学ぶ。	
12			2節 対数関数	指数と対数の関係及び対数の性質やグラフについて理解を深め、それらを活用する。関数としての対数を学ぶ。	
	期末考査				

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	6章 微分法と積分法	1節 微分係数と導関数	関数の値の変化について考察し、極限の考え方から微分係数や導関数の意味を理解し、その求め方に習熟する。	行動観察 小テスト プリント分析 定期考査
	2		2節 微分法の応用	導関数を利用し、接線の傾きから関数の増減・極限を調べ、3次関数のグラフが正しく描けるようにする。	
	3		3節 積分法	微分の逆演算として不定積分を捉え、不定積分や定積分の計算に習熟する。 定積分により、直線や放物線で囲まれた図形の面積が求められることを理解し、その求め方に習熟する。	
			学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	「方程式・式と証明」・「図形と方程式」・「三角関数」・「指数関数・対数関数」・「微分法と積分法」における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などをきちんと理解し、基本的な知識を身につけている。また、計算も正確に行うことができる。
思考・判断・表現	「方程式・式と証明」・「図形と方程式」・「三角関数」・「指数関数・対数関数」・「微分法と積分法」における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉えかつ論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返って多面的・発展的に考えることができる。また、事象を数学的に考察して表現・処理することができる。
主体的に取り組む態度	「方程式・式と証明」・「図形と方程式」・「三角関数」・「指数関数・対数関数」・「微分法と積分法」における考え方に興味を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。

4 評価の方法

各定期考査や小テストなどの結果、プリント・授業ノート・宿題などの提出状況やその内容を精査し、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

数学Ⅱで学習する内容は、私たちが日常生活で利用している多くの道具や電気器具などの仕組みの根幹をなす部分であり、自然界に存在する現象を考察するうえでも欠かすことができないものです。そこで、常に好奇心や問題意識を持ち、積極的に授業に参加し、これからの考え方や知識を身につけてください。また、授業開始前には教科書・ノートなど必要なもの全て準備し、きちんと着席して下さい。さらに、授業でわからなかったことは決してそのままにせず、質問に来るなどして早めに理解しておくようにしましょう。